

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。	 必ず実行	必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

警告

熱湯は使用しない。
やけどをするおそれがあります。

禁止

この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

強い力や衝撃を与えない破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

凍結が予想される場所（気温・室温が0℃以下）で使用する場合は必ず凍結予防を行う。
配管や水栓が凍結破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。予防方法は以下のいづれかです。
①暖房などにより、室温が0℃以下にならないようにする。
②水栓から水を出し続ける。

使用上のご注意（取り付けの前に必ずご確認ください）

注意

止水栓を取り付けたあと、給水管内のごみを完全に洗い流してください。
内部にごみが詰まり、吐水量が少なくなったり、水が止まらなくなることがあります。

必ず実行

最低必要水圧(流動圧)
●使用必要水圧(流動圧)0.1MPa以上
●最高水圧(静水圧)0.50MPa以下
●最低必要水圧(流動圧)が確保できない場合は十分な機能が発揮できない場合があります。

必ず実行

給水圧力(静水圧)が0.5MPaを超える場合は、市販の減圧弁で減圧してください。
0.2MPa程度に減圧してください。

水勢調節および器具の点検を容易に行えるように、別途止水栓を必ずご用意ください。

温泉地や温泉成分を含む場合は、温泉成分によりめっきが腐食することがあります。
温泉水の通水は機能障害・腐食の危険性がありますのでお避けください。

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)	使用可能水質	水道水
	最高水圧	0.50MPa(静水圧)	使用環境温度	一般地用：1～40℃
用途	一般住宅用			

取り付け前に

必ず実行

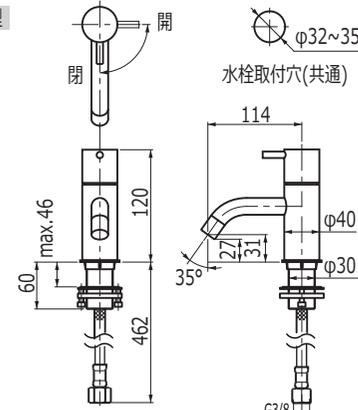
フレキホースを取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

給水圧力は最高水圧(静水圧)以下に設定してください。最高圧力(静水圧)を上回ると、操作不良が起きたりバルブカートリッジが破損するおそれがあります。
推奨使用圧力：0.2～0.3MPa

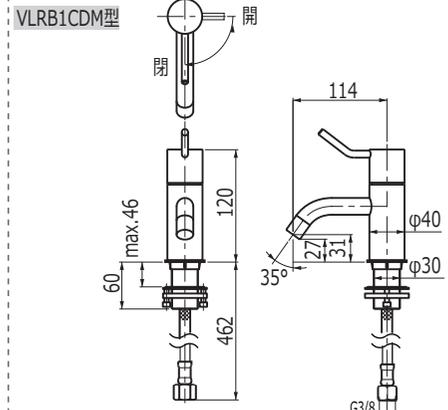
完成図

※改正符号によって施工手順に違いはございません。

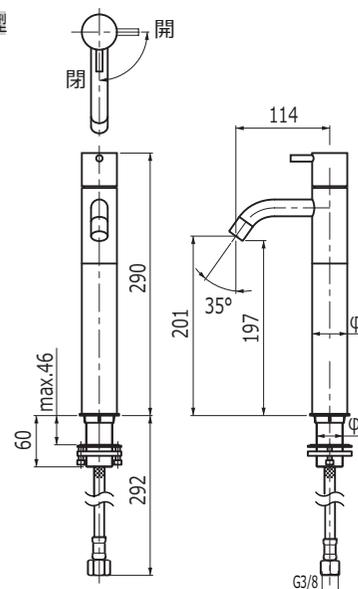
VLRB1CD型



VLRB1CDM型



VLRB1170型



同梱部材

パッキン(大) φ44×φ30 t 1.5
パッキン(中) φ38×φ30 t 1.5
パッキン(小) φ36×φ30 t 1.5

座金 φ50×φ30 t 1.5
台座 φ45×φ30 t 1.0
スペーサー φ41×φ30

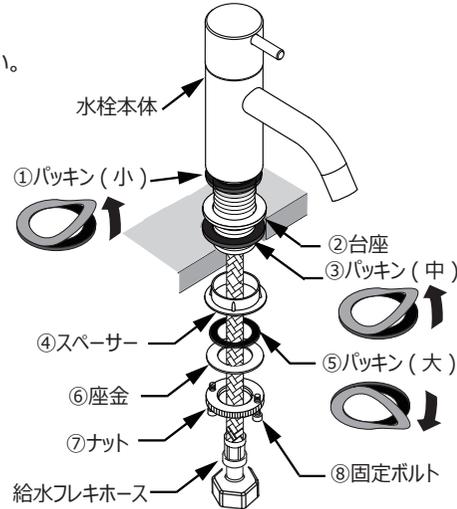
ナット φ50×φ28.5 t 5.0

固定ボルト(2本) M5×15 六角対辺 4mm

六角レンチ2.5mm (ハンドル固定ねじ取外し用)

本体の取付

- ①の剥離紙を剥がして水栓本体に貼り付けてください。
- 水栓取付穴がφ32より大きい場合、②を取り付けてください。
(③の剥離紙を剥がして②に貼り付けてください。)
必要に応じてコーキング等シール材を用いて伝わり漏れを防いでください。
- 水栓本体を水栓取付穴に通してください。
- 裏側から水栓ねじ部に④⑤⑥を通し、⑦で締め付けてください。
(⑤の剥離紙を剥がして⑥に貼り付けてください。)
- ⑦を締め付け後、⑧(2本)を六角レンチ(対辺4mm)を使用して締め付けてください。
- ガタツキや緩みがないことを確認してください。

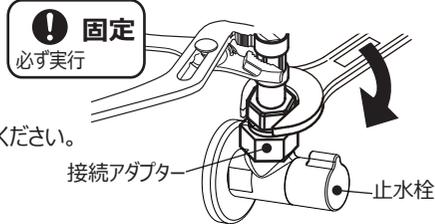


止水栓への接続

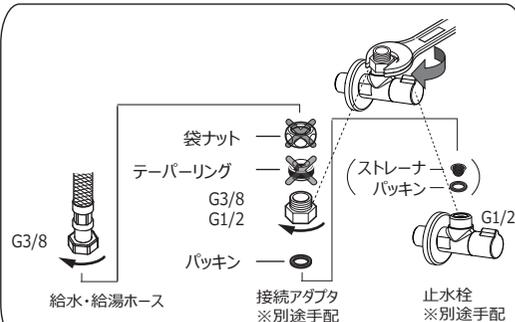
- 止水栓へ①接続アダプタに同梱されているパッキンを入れて本締めしてください。
(止水栓にストレーナとパッキンが同梱されている場合、同梱品も合わせて使用してください)
- ①接続アダプタに②給水ホースを手締めで仮固定後、本締めしてください。
※給水ホースを接続する際、接続アダプタに付属の袋ナットとテーパリングは使用しません。
※湯水を逆配管しないでください。水栓を正面に見て右が給水、左が給湯になるようにホースを接続してください。

注意

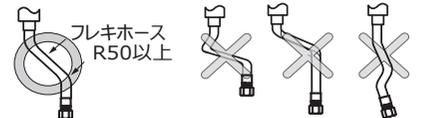
- ホースの折れ曲がりのおそれがありますので、以下の注意事項を必ず守って取付けてください。
- 止水栓に接続する袋ナットはフレキホースが、共回りすることのないように、必ずフレキホースの付け根を固定しながら、接続アダプタに締め付けてください。



必ず実行



- ホースを必要以上の方で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は50mmです。それよりも小さく曲げて使用するとホースが折れ十分な流量が出ない場合や、破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。



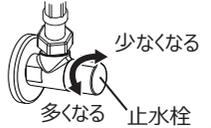
水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。また、ホース接続部や隙間などから水漏れがないことを確認してください。



流量の調節

止水栓にて流量を調整してください。ハンドルを湯水最大に回したときに同じ量が出るように適宜調節してください。また、流量が多すぎると水はねが起こる場合があります。



ご使用にあたって

●ハンドルの操作感は個体差によりばらつきがございますが、品質に問題はございませんので、安心してご使用ください。

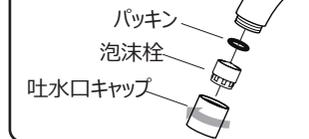
点検項目

- 水漏れの確認
→接続部から漏水はしていませんか？
- ガタツキ・ゆるみの確認
→水栓のガタツキ、ナットのゆるみはないですか？
- 流量の確認
→吐水口にゴミの詰まりはないですか？
→止水栓は開いていますか？(水の量が少ない)
→給水圧が不足していませんか？(水の量が少ない)

<お手入れ>

- 器具に水をつけて柔らかい布で抜き取ってください。汚れがひどい場合には中性洗剤をつけてふき取ったあと、水拭きし最後から拭きしてください。
- クレンザーや磨き粉など粗い粒子を含む洗剤、酸性洗剤や塩素漂白剤、シンナー、ベンゼン及びナイロンたわし等は器具の表面を傷つけたりしますので使用しないでください。
- 吐水口キャップを矢印の方向に回してはらずし、泡沫栓の網目につまったゴミをブラシなどで取り除いてください。

泡沫栓取外し方法 (日常点検)



※当説明書記載の仕様は改訂する場合がございますのでご了承ください。

セラトレーディング株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山1-24-3 TEL: 03-3796-6151(代)

ホームページ www.cera.co.jp

A014400 2023.11